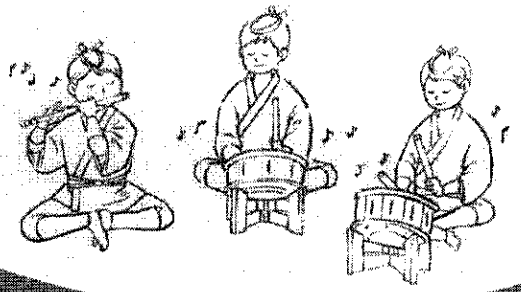
第13回

さいたま

伝統芸能普及フェスティバル

さいたま市に伝わる伝統芸能の紹介・実演



11/22［日］

先人たちが残してくれた「想い」

伝統芸能あるところに昔ながらのコミュニティがあり、
先人たちが人と人と「絆」を深めるために伝統芸能は地域を活性化してきました。
そんな先人たちの「想い」を見直してみませんか。
伝統芸能に親しむ秋をどうぞお楽しみください。
なお、各団体とも一緒に伝統を継承していくメンバーを募集しております。

出演団体

- 内谷囃子連（うちやはやしれん）
- 浦和木遣保存会（うらわきやりほぞんかい）
- 木崎囃子会（きざきはやしかい）
- 駒形囃子保存会（こまがたはやしほぞんかい）
- 栄和おはやし会（さかわ）
- 原山囃子連（はらやまはやしれん）
- 町谷囃子連（まちやはやしれん）
- 本太囃子会（もとぶとはやしかい）
- 本太四丁目囃子会（もとぶとよんちょうめはやしかい）

公演概要

会場	プラザイースト　ホール
開演	12：30　（開場12：00）
入場	無料・自由

お問い合わせ

(公財) さいたま市文化振興事業団 プラザイースト
TEL：048－875－9933

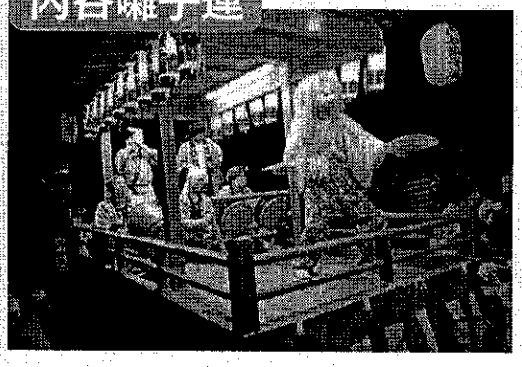
主催：公益財団法人さいたま市文化振興事業団 / 共催：さいたま市
協力：さいたま伝統芸能普及フェスティバル実行委員会

第13回 さいたま

伝統芸能普及フェスティバル

参加団体紹介

内谷囃子連

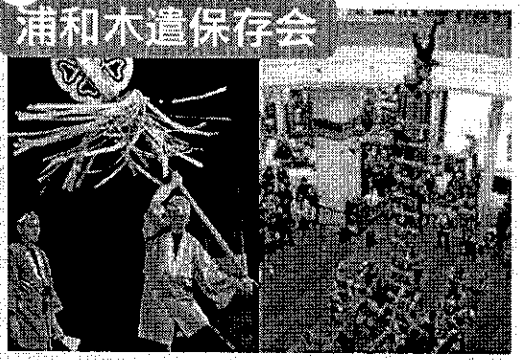


起源については多くの説を持つ。一説には江戸時代に内谷では、すでに囃子があったという。また、元々依頼先は不明だが、よその地区に頼んで囃子を出していたともいい、明治の初めごろ、白子地区の人により始められたとの言い伝えもある。鉦が文化期のものと考えられることから、「内谷村若者中 西村和泉之守作」の刻銘のある鉦が伝わっている。作者としてある西村和泉之守は、内谷の一条院の金剛盤(文化7年・市指定文化財)の刻銘にもある。白子から伝わった囃子は復活したものという考えもある。また復活した囃子は、赤塚(板橋区)から伝わったとも言われる。内谷からよそへ教えたことはない。昭和の初め頃までは、東京に叩きに出かけた。調神社の祭り、蕨神社の祭りでも頼まれて演奏した。

埼玉県民俗芸能調査報告書第13 集 埼玉の祭り囃子Ⅶ(北足立地方編2)より抜粋

昨年の様子▼

市指定無形文化財 浦和木遣保存会

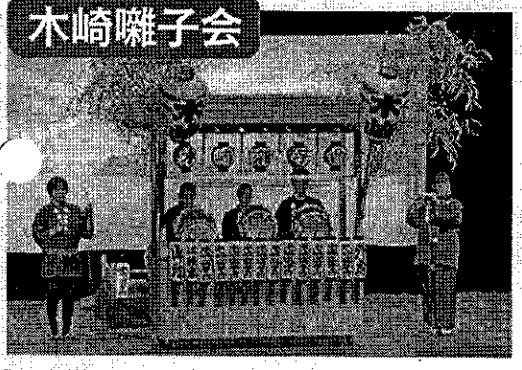


木遣は、木材や石材を大勢で運搬、移動させるとき等に使われた「労働歌」の一種で、江戸時代に町火消しが組織されてから江戸の鳶職によって発展し、昭和30年代までは「木遣地形」(木遣に合わせて、蛸と呼ばれる木製の巨大な地突き棒によって、地面を締め固めた)に、たびたび使われていました。歴史的には労働の際に使われなくなってきた木遣を残そうと、「木遣講」「浦和鳶組合木遣保存会」を経て、昭和41年(1966)に初代会長内田善造氏を中心とした浦和市内の鳶職によって「浦和木遣保存会」が結成された。

昭和49年(1974)4月に浦和市(現さいたま市)の無形文化財指定、平成23年(2011)11月埼玉県より文化ともしび賞の受賞。

昨年の様子▼

木崎囃子会



むかし木崎のお祭りといえば、4月4日の獅子祭りや、農家のお庭で開かれる盆踊りが中心でした。

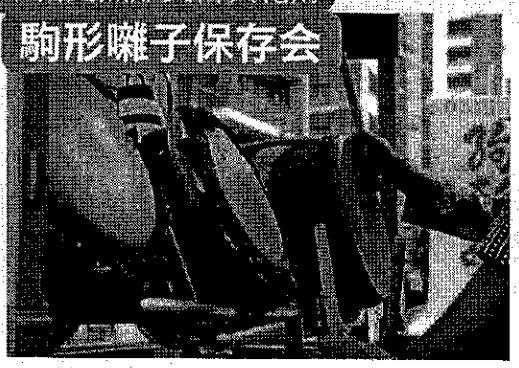
「子供から大人まで楽しめる夏祭りを開きたい」――その思いから昭和61年(1986年)、仲間が集まって木崎囃子会を発足、御室神社で屋台を出しながらお囃子を演奏する夏祭りを催したのが始まりです。

平成10年(1998年)からは和太鼓の演奏も加わり、この地域では珍しい"お囃子と和太鼓の二刀流"で活動を展開し、地元・木崎の催事を中心に、神田祭や市・県内外の行事にも参加しています。

演奏のほかにも、大黒舞・巫女舞・獅子舞・おかめひょっとこ踊りなど、舞や踊りの伝統芸能も受け継ぎながら、地域の皆さまと集う場を華やかに彩る活動をしています。

昨年の様子▼

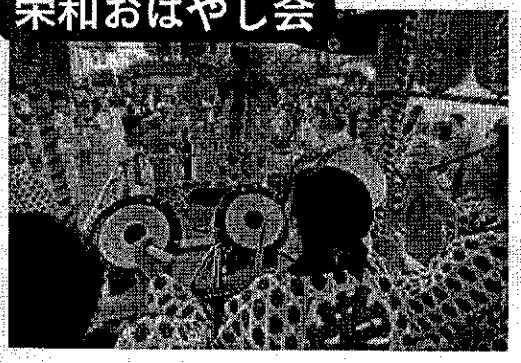
市指定無形民俗文化財 駒形囃子保存会



駒形の祭囃子は発祥や伝承などの記述がなくはっきりしませんが、調査報告書(昭和49年度に浦和市教育委員会が行った調査の報告書)によると、駒形の祭囃子は、「江戸系統の祭囃子であるが、「下町囃子」を基調として、これに各地の囃子の特徴を採りこみ、工夫を加えて独特のものとした」ものであり、160年ほど前(嘉永年間1848～1853)に始まったと伝えられています。そんな中で確実に分かっているのが1905年生まれの方が「子供の時には存在していて二十歳の時に年配者に習った」と言っていましたので120年以上前には今の形で伝承されていたことになります。これだけ古くからのものでありながら近隣町村どころか埼玉県内、都内の囃子を聴いても、駒形囃子と同じものを聞いた事はありませんので、何処から伝わってきたのかわかっていません。

昨年の様子▼

栄和おはやし会



栄和おはやし会は、昭和62年に発足し、里神楽の岡田民昭先生にお世話になりながら、地元の夏祭り、盆踊りを中心に活動しております。会員数の減少に悩む時期もありましたが、ここ数年は子ども達の入会がグッと増え、親子での参加もあり、発足以来のメンバーと共に25名程で、とても賑やかに楽しく活動しております。この夏の祭りでは若い世代が踊りデビューを果たし、盆踊りでは櫓の上で向かい合わせた大太鼓２台による演奏が特徴的で評判をいただいております。昨年度からは地元の公民館文化祭での発表に参加し、今回からの伝統芸能普及フェスティバル参加等、発表の場を広げるべく積極的に活動しておりますので、交流できる場がありましたらぜひお声がけいただけると嬉しいです！

原山囃子連



原山祭りでは、樽神輿や持ち回りの神輿を担いで、樽を叩き、夏祭りを行っておりました。
昭和30年代に子供神輿を購入し、その後曳き太鼓、大人神輿と購入していきました。昭和60年頃に地元有志で囃子連を設立し、江戸里神楽・岡田社中の４代目岡田民五郎氏に師事をしてお祭りでの囃子演奏を行って参りました。
現在では師から独立をして後進の育成に力を入れております。
毎年原山小学校での体験教室開催や７月に浦和祭り・大在家八雲社の宵宮での奉奏、8月の原山祭りと大在家納涼祭、11月に老人介護施設慰問、12月・1月は地元での獅子舞練り歩きなど地域を盛り上げるため精進しています。現在の子ども会員は15名、大人会員は5名です。お稽古は通年で、毎月第2・4火曜日及び第2・4日曜日に行っております。

昨年の様子▼

町谷囃子連



町谷のお囃子には諸説ありますが江戸時代の文献に土合の囃子方の存在が書かれています。町谷在住の人が多かったという事から町谷は芸達者が多いと言われてきました旧浦和市内に展開された八町囃子でも、その芸達者の力を発揮しています。
現在は、八町囃子をしっかりと後世に残すべく活動をしており、構成員50名を超す大所帯になってます。地域外にも出向く事が増えてきました。
また、お囃子だけではなく町谷地区のイベントの企画運営など若い力はすくすくと育ってくれて、頼もしい限りです。
練習は、毎週日曜日18時30分から町谷自治会館にて行っています。見学自由となっておりますのでお気軽にお越しください。

昨年の様子▼

本太囃子会



本太地区では、江戸時代末期の慶応元年に本太囃子連が発足した記録があります。昭和30年代に一旦途絶えましたが、人と道具は連綿として続いておりました。昭和47年1月に地元祭礼の復活に先立ち、大戸の岡田民五郎師匠・町谷の井原新助師匠の指導のもと、近隣の囃子連と八町睦を結成し、毎年発表会を開催していましたが、今後はその復活を目指すとともに「さいたま伝統芸能普及フェスティバル」を通じて、切磋琢磨してスキルアップを図りたいと思います。

昨年の様子▼

本太四丁目囃子会



「本太四丁目囃子会」は「本太四丁目町会」と「本太四丁目青年会」の元、平成２４年4月に発足し、町内の春祭り、夏祭りや中山道の神輿渡御を中心に、地域のイベント等でお囃子を披露しております。
小学生から大学生、若い世代から幅広い世代で本太公民館にて定期的にお稽古に励んでいます。太鼓の音や、笛の音色を奏でる楽しさを追及しながら日本の伝統芸能を若い世代に伝える活動をしています。
「本太囃子会」さんとは地域のお祭りやイベントで「本太囃子連」として一緒に演奏しています。
本太公民館2階和室にて月に2回程度、日曜日の午後2時～4時にお稽古しております。
見学自由ですので、お気軽にお問い合わせください。

見て、学んで、体験する
大人も子どもも一緒に伝統芸能！

参加者大募集！

伝統芸能体験教室





体験教室概要

日　時　体験教室2回＋発表会1回
11月15日（日）13時～15時 プラザイースト フィットネスルーム
11月21日（土）16時～17時 プラザイースト ホール
11月22日（日）11時～17時 プラザイースト ホール
※11月22日(日)開催の伝統芸能普及フェスティバル内で発表します。

内　容　お祭りでもよく耳にする「にんば」とアップテンポな「なげあい」の２つの演目の太鼓に挑戦します。
また、最終日には、「さいたま伝統芸能普及フェスティバル」で成果発表を行います。

参加費　子ども 500円 ／ 一般（高校生以上） 1,000円
※楽器や道具はプラザイーストで用意します。

参加対象　小学2年生以上の方。お囃子に興味のある方。
※親子でも、大人のみの参加でも可能です。

講　師　さいたま伝統芸能普及フェスティバル実行委員会のみなさん

お申込み　さいたま市生涯学習情報システム
https://gakushu.city.saitama.jp/
※9月19日(土)～先着順

お申込み

公益財団法人さいたま市文化振興事業団　プラザイースト
〒336-0932　埼玉県さいたま市緑区中尾1440-8　TEL：048-875-9933